

安城市 協働に関する指針を考える 市民会議



第10号

わくわく交流会2012開催！ 協働に関する指針検討も大詰め！

厳しい寒さの間にも、少しずつ暖かい日が訪れるようになってきました。春はもうそこまで来ています。

あんねっとでは、1月29日(日)に市民活動センターと協働で「わくわく交流会2012」今日どう？(協働)つながるっていいネ」を開催しました。

第24回で企画会議を行い、第25回は実際の開催場所である市民交流センターでリハーサルをしました。あんねっとメンバーとわくわくセンターのスタッフにより、協働を実践したフォーラムになりました。

また、当日は参加者の方へ協働に関する指針(案)のお披露目を行い、協働についてアイデアを出し合いました。実際に協働事業のマッチングも生まれ、刺激的な内容になりました。

そして、第26回のあんねっとでわくわく交流会をふりかえり全体トーク。2月20日の審議会での審議を経て、2月22日に審議会から市長へ、協働に関する指針を答申しました。これで、指針作成を目標としたあんねっとは、3月15日で最終回となります。

発行／安城市協働に関する指針を考える市民会議
事務局／安城市 市民協働課
TEL(0566)71-2218 FAX(0566)76-1112
MAIL : kyodo@city.anjo.lg.jp
HOME : <http://www.city.anjo.aichi.jp/>

- 「あんねっと」とかわらばんへのご意見・ご感想をメール・電話・FAXで募集します。
- どうぞお寄せください。お待ちしております。

第24回

2011. 12. 8



第24回あんねっとでは、わくわく交流会の企画内容の検討を行いました。

A、B、Cの3チームに分かれ、それぞれA＝参加者募集・会場準備など、B＝交流タイム・井戸端会議など、C＝指針の説明・第二部協働タイムの進行などについて話し合いました。

また、来年4月以降の新生あんねっとについて、正副会長から提案があり、全員で意見交換を行いました。

グループワーク「企画しよう！あんねっとフォーラム(2)」

A【参加者募集】 参加していただけるように工夫してメッセージを！／ポストイット etc 手書きでひとこと入れる／手渡しできない人には「ばらりん」に同封
【会場準備】 飲み物(500～350ml)、おかし(駄菓子)個包装になっているものを用意する(予算4000円程度)／お花・小物／はじまるまでのBGM(JAZZ)／展示パネルにかわらばんを拡大して展示／参加団体分の紹介資料を、インターネットからプリントアウトして掲示する
【名刺交換】 各々が持っている名刺は事前に作成



B【第1部(仮称)交流タイム】 話題カードを用意、引いてもらって話してもらう→共感・イイネ！と思えばシールを自己紹介カードに／知り合い同士は座らない／時間管理／1回目で話さなかった人のグループへ／自己紹介(1分)、カードを用いて話す(4分)／イイネ！シールを貼った自己紹介カードを掲示し、他のグループのものを見て、シールを貼る＋名刺交換・交流も／Bチーム代表が話す／井戸端会議／6人1テーブルで最大12テーブル／1テーブルに1テーブルマスターで最大12人必要(B+Cのメンバー)



C【第2部(仮称)交流タイム】 テーブルマスターはみんなの言葉のキャッチボールを促して／指針を読み込むのは難しい。体験型にする？→クイズ形式 ex.)天才クイズのような…(景品はDailyサイダー？)／テーブルマスターがクイズ司会者になる／「こんな協働したい！」「こんな協働できるよ！」の発表→イイネ！シールで評価。アイデア賞には金のイイネ！シールを貼る。たくさん集めたテーブルの勝ち！テーブル対抗とする／井戸端会議→作戦会議／きょうどう？大作戦



有志の打合せも行いました！

交流会開催に向けて「わくわく交流会実行委員会」に、あんねっとからも有志のメンバーが参加して具体的な進行などの打合せを行いました。
実行委員会は11/2、11/22、12/27、1/13の計4回わくわくセンターで開催しました。
その他、頻繁にメール交換して連絡を取り合いながら準備を進めました。当日使用するパワーポイントや小物の用意、お茶・お菓子の買出し、会場装飾のお花なども準備しました。これらをメンバーの「手づくり」で行いました。



当日のおしなかし

1. あいさつ
2. アイスブレイク
3. 第一部 交流タイム
「井戸端会議」
4. 休憩・名刺交換
5. 第二部 協働タイム
「テーブル対抗！
きょうどう大作戦」
～協働に関する
指針(案)の紹介～
6. 閉会



第25回あんねっとでは、10日後のわくわく交流会に向けて会場下見・進行の確認を兼ねて、リハーサルを行いました。
「アイスブレイク」や「第一部交流タイム、第二部協働タイム」の進行、協働に関する指針(案)の説明については各担当が一連の流れを確認。また当日は、テーブル毎に色々な話し合いを進めてもらうため、あんねっとメンバーの中から「テーブルマスター」「書記」担当も選びました。
いよいよ次回は本番。あんねっとの準備はOKです。後は、参加者が沢山きてくれるといいな・・・。

第25回

2012. 1. 19



わくわく交流会
リハーサル！



ひとことアンケート

あんねっと24 楽しかったです。気軽に意見が言えました。／テーブルマスターにあまり負担がいかない工夫ができるといいネ！／いろいろな提案ができたことは大変よかったと思います。建設的な意見が多く出された良い交流会が開催できることを期待したい。

わくわく交流会 話し合い途中、会話が途切れることなくできていた。／行政の色があまり出ず、市民全体でやれた感じがかった。／たくさんの意見が出たこと。本当にコラボできそうな臭いがぷんぷんしました。／詰め込みすぎたようです。欲張りは良くない…。時間オーバーは最後の印象が良くなってしまうですね。

あんねっと26 会場の花飾りが役に立ってうれしいです。／話し易い環境づくり、ありがとうございます。小森さんの努力が実ればよいですね。／協働の指針のサブタイトル何とか決まりましたね。風車をもじって風を取り入れるなんてすばらしい。／市民活動センターのわくわく交流会の視点が全く出ていないことは少し疑問です。



裏面へ続く

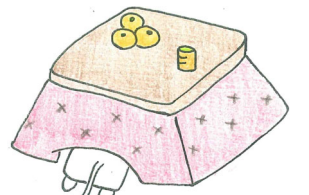
多くの方のご参加ありがとうございました！！



内容は二部構成で、第一部が交流タイム『井戸端会議』、第二部が協働タイム『テーブル対抗！きょうどう大作戦』。9つのテーマに分かれ意見を交わしました。活動団体の交流と協働に関する指針への理解を深めてもらうことができました。

わくわく交流会

2011. 1. 29



いよいよわくわく交流会の開催です。一般参加者241名、あんねっと24名、わくわくセンター7名、事務局9名の合計81名の参加がありました。

第2部 協働タイム 『テーブル対抗！きょうどう大作戦』 協働のアイデア提案

- ①アルバイト+インターンシップを組合わせて、関係するところとつなげたい。
- ②情報発信～町内会の回覧を活用。
- ③南吉カフェコラボレーション。(読み聞かせ)、週がわりランチタイムおとしシェフ)
- ④『ご近所福祉』町内会&社協の協働。
- ⑤市民・団体・事業者・市をつなぐコーディネーターの養成。
- ⑥ドレッシングとしての心意気。(役に立ってうれしい。楽しい。)
- ⑦防災に関係ない人(団体)はいない。老若男女、様々な分野
- ⑧ねむっているサルビアスタンプの活用。
- ⑨学校関係と協力しながら、子どもの食育に関する指導をしている。

第1部 交流タイム『井戸端会議』ダイジェスト

- ①【団体自慢】小学生を対象に月2回読み聞かせ。中高生の本離れが顕著。読む聞くでコミュニケーションがとれる。＜あんみつ＞
- ②【私の夢や悩み事】高齢者、弱視の方にも声の広報を聞かせてあげたい！＜安城ひびきの会＞【こんな人探してます！】頑固な人、わがままな人。＜あんき会＞
- ③【団体自慢】テクニックを他の人たちにも伝えている。ノウハウに自信あり。【私の夢や悩み事】子ども達が将来もなれることができるか不安。楽しいという事を伝えたい。
- ④【団体自慢】男女共同参画を進めているので男性にももっと参加して欲しい【こんな人探してます！】視覚障害者に関する読み聞かせを手伝っていただける方
- ⑤【団体自慢】福祉に力を入れている。会のモットーは「困った人を助けてナンボ！」【私の夢や悩み事】スタッフが集まらない。
- ⑥【団体自慢】幅広い年代の方と交流できます。【こんな人探してます！】活動に参加し楽しく盛り上げてくれる人。
- ⑦【私の夢や悩み事】子どもに読み聞かせ会をやりたい。＜ふれあい「えのき」＞【こんな人探してます！】メンバーをもっと増やしたい。＜消費生活学校＞
- ⑧【団体自慢】習い事じゃなくて勉強が大事。男女共同参画。【こんな人探してます！】サロンのバザールをやっていたり、防災について良い取組をしている人たち。
- ⑨【団体自慢】「私達の健康は私達の手で」がスローガン【こんな人探してます！】消費生活展と一緒に活動してくれる人

【内お一クテーマ】
＜内お活動団体名＞



参加者アンケート結果

地域と密着した活動として発展させる為にどうしたら良いかアイデアをもらえた。／井戸端会議にしてはテーマがカタイ。／行政にまかせることなく、住みよい安城を作ろうとしている人がいるとわかった。／自分の方から飛び込んで話すことができなかった。／地域の課題を解決する為に協働する事の必要性を理解できた。／難しいことだと思いますが、これからも学んでいきたいと思います。／協働コーディネーターという言葉をはじめて知りました。



全体トーク「ふりかえろう！あんねっとフォーラム」

●よかった点～評価・手ごたえ

【交流できた！みんなで話し合うことができた！】熱心・活発に活動している団体の出会いがあったこと。【あんねっとメンバーが輝いていた！】役員の皆さんがそれぞれの持ち場・役割を守っていただいた。【広く市民が参加できた】登録団体以外の市民に参加していただけたこと。【自分たちの考えた計画が生きていた！】サラダやいいね！シールなど自分たちの伝え方が効果的だった。／石川さんのサラダの寄せ植え、素晴らしかった。

●反省点～こうしたらもっと良くなる！

【タイムスケジュールのこと】終わりの時間を守れるとよかったネ！／客観的に判断するタイムキーパーが要る。【企画・内容のこと】名刺交換タイムを通して交流すると良いのでは？／テーブルマスターは団体紹介ができるよう配慮してほしい。【広く市民を集められなかった】農業者(生産者)がいなかったのが残念でした。【その他】「協働」の意味、指針についてはどれだけ理解されたのかが不明(とにかく忙しくて)。

第26回あんねっととは、協働に関する指針(最終案)の確認からスタートしました。事務局からの変更点の説明の後、最終意見を出し合いました。最後にはあんねっととして、全員の拍手で指針最終案を承認しました。

第26回

2011. 2. 9



フォーラム
ふりかえり！

編集後記

あんねっと新聞も今回で第10号となり、第1号の発刊から早2年が経過しました。市民会議～あんねっとも約月1回のペースで、合計27回も開催しました。4月以降も、完成した協働に関する指針を活かしていくために、小森会長を中心に「新生あんねっと」を立ち上げる予定です。今後もあんねっとの活動にご期待ください！(大)

あんねっと～これまでの活動記録

市民参加編

市民協働編

年	21	22	23	24
活動内容	参加編スタート	勉強会 分科会による検討	素案のたたき台 市民参加条例案のたたき台作成 分科会による検討 新年度キックオフ全体会 協働の指針中間まとめ 協働の指針たたき台 指針のたたき台 指針に関する指針のたたき台作成 分科会による検討	わくわく交流会開催 フォーラム企画会 指針のたたき台 指針に関する指針のたたき台作成 分科会による検討

第9回審議会の議題は、安城市協働に関する指針(案)について安城市市民協働推進条例(案)についてでした。は、前回審議会からの変更点について事務局から説明。出席委員全員の承認を受け、22日に市長へ答申しました。は指針をもとに作成した条例案について事務局が説明し、質疑応答を行いました。

第9回審議会

2011. 2. 20

